

県外派遣審判員報告書

作成日 平成31年 3月 28日

大会名	全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会		会場	福岡市総合体育館	
期間	3月23日～24日		報告者	山中 萌衣	
スケジュール					
期日	内容			場所	
3月23日	9:00～	女子1回戦 大分(大分県)対延岡学園(宮崎県)		福岡市総合体育館	
	16:30～	女子2回戦 佐世保南(長崎県)対福大若葉(福岡県)		福岡市総合体育館	
3月24日	12:00～	女子決勝 精華女子(福岡県)対小林(宮崎県)		福岡市総合体育館	
実技	割り当て	大分対延岡学園	CC	相手	U1:篠原(福岡県・B級) U2:萩原(福岡県・B級)

○ゲーム前(プレカンファレンス)
3POメカニクスのベーシックの確認, ガイドラインの確認

○ゲームの実際

高さで勝る延岡学園が終始リードを保ったまま進んだ試合だった。
延岡学園に留学生がいるため、インサイドの攻防がポイントであった。特にショットの対する手の出し方について、シリンダー内かシリンダーから外れているのか、また遅れて手を出していないかというところをもっとシビアに見る必要があった。二人・三人で囲みに行くのでセンターからの判定がもっとできたのではないかと思う。それに対し、大分はアウトサイドのシュートをよく打っていたためリバウンドに対してもトレールが残って見ないといけな場面もあったのではないかと思う。

○ゲーム後(ポストカンファレンス) 主任 山口 勝真 氏(長崎県・A級)

リードでスイッチサイドをするとき、クローズダウンポジションがもう一歩中でもいいのではないか。一歩でもスイッチサイドがスムーズになるので、ローテーションを起こしやすくなる。EOQ,EOGの管理に関して、もっと大きく誰が管理するかということを示した方がいい。それがなかったので2人鳴らしたり、終わり方が曖昧になることがあった。

実技	割り当て	佐世保南対福大若葉	U1	相手	CC:紀伊(佐賀県・A級) U2:村田(宮崎県・B級)
----	------	-----------	----	----	--------------------------------

○ゲーム前(プレカンファレンス)
3POメカニクスのベーシックの確認, ガイドラインの確認

○ゲームの実際

自分のプライマリーであるが判定できなかったことが多く、CCへの負担を大きくしてしまった試合であった。特に身体のよせについて曖昧なままで笛が鳴らないということが多かった。

○ゲーム後(ポストカンファレンス) 主任 木葉 一総 氏(1級インストラクター)

次は自分のプライマリーになるという準備が足りない。展開に合わせてプライマリーは変わるので、いつ自分のところにくるのか準備をもっとすることが必要。その上で、判定をしていかなければいけない。その結果、CCの負担が大きくなっていた。

実技	割り当て	精華女子対小林	U2	相手	CC:福岡(長崎県・S級) U2:佐田(大分県・A級)
----	------	---------	----	----	--------------------------------

○ゲーム前(プレカンファレンス)
3POメカニクスのベーシックの確認, ガイドラインの確認,
3or2の確認について, LとCのアイコンタクト, オールコートディフェンスがあったときのCの位置について

○ゲームの実際

トランジションが早くお互いによくシュートが入り、ハイスコアな試合であった。
試合開始から3人でテンポセッティングができたことで選手たちがりかいてくれてクリーンな試合になった。しかし、大事なところではCCが決断をすることが多かった。その中に自分のプライマリーの方が見やすかったものもあったので、何もないなかで大事なところを落とさないようにしたい。スティールがあったときにコントロールがあったのかなかったのか、またそれによってショットクロックが何秒になるのかをはっきりと示せてなかったため、大きな声でわかるように伝える必要があった。

全体を通しての感想

九州大会で初めてCCをいただき、できていた部分や課題になった部分が見えた。ベンチ管理やゲームコントロールというところをもっと勉強していく必要があると感じた。23日の2試合目では、CCメンタリティーが足りていないことが如実にでたしまった。判定する準備も足りていなかったため、判定だけでなくもっともCCメンタリティーをもって臨まなければいけないと痛感した。決勝では、自分のプライマリーの判定で必死だったが、笛を吹くタイミングや声を使うこと、テンポセットしたあとの判定の仕方などとても勉強になることが多かった。また試合中に簡潔に話をするなど参考になることばかりだった。ここでの経験を持ち帰って、実践していくと同時に県内審判員にも伝えていかなければいけないなと感じた。

最後になりましたが、大変お世話になりました福岡県バスケットボール協会審判委員会の皆様、そして、今回の派遣に

ご配慮いただきました原田審判委員長をはじめ鹿児島県審判委員会の皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。